



手の形を表した「寸」に、手首にある脈所（脈拍を測るところ）を示す「寸」を加えた字です。「手首から脈所までの長さ」を意味します。「ごくわずか」という意味にも使われます。昔は物差しがなかったため、手など体の部分を使って、長さを測りました。

熟語例
寸法 長さ（「法」は「メートル法」「尺貫法の法」）
寸前 ほんの少し前

同時に覚えることよい字
「尺」は、親指を支点にして、他の四本の指をいっばいに伸ばし、長さを測る形を表した字で、この長さを「尺」といいます。なお、一尺の十分の一が「一寸」です。熟語例 尺、尺度

「材木を組み立てた」形の「講」と、「言（ごんべん）」とを組み合わせた字です。「言葉」を「組み立てる」という意味で、「聞く人たちによくわかるように考えて、話を組み立てる」ことを表しています。また、「よく考えて適切な処置を行う」「仲良くする」という意味にも使われます。

熟語例
講話 わかりやすく説明して聞かせること。また、その話
講習 学問や芸術を学習すること。また、そのための集まり

同時に覚えることよい字
「構」は「葦」と、「木（きへん）」とを組み合わせた字です。「材木を組み立てる」ことを表しますが、今では、単に「組み立てる」「組み立てる」の意味に使われます。熟語例 構成、構想